

# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

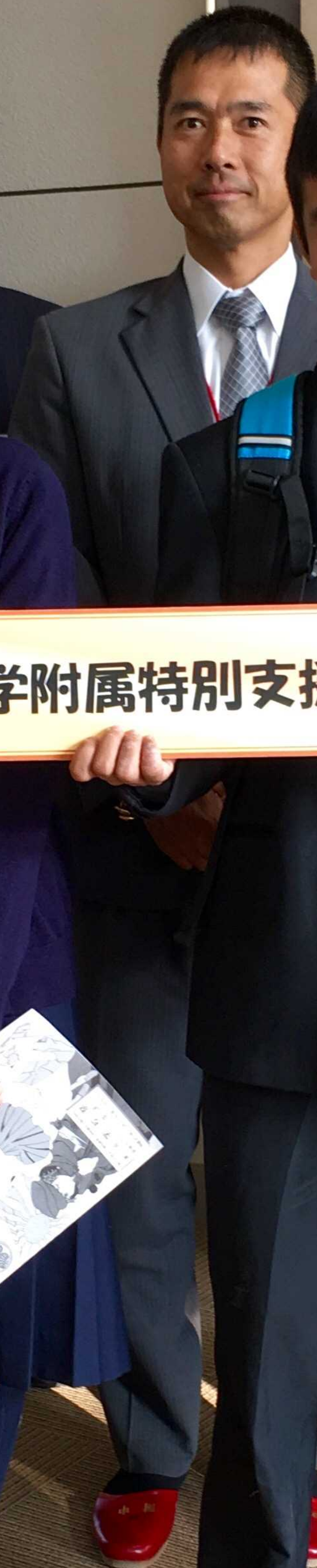
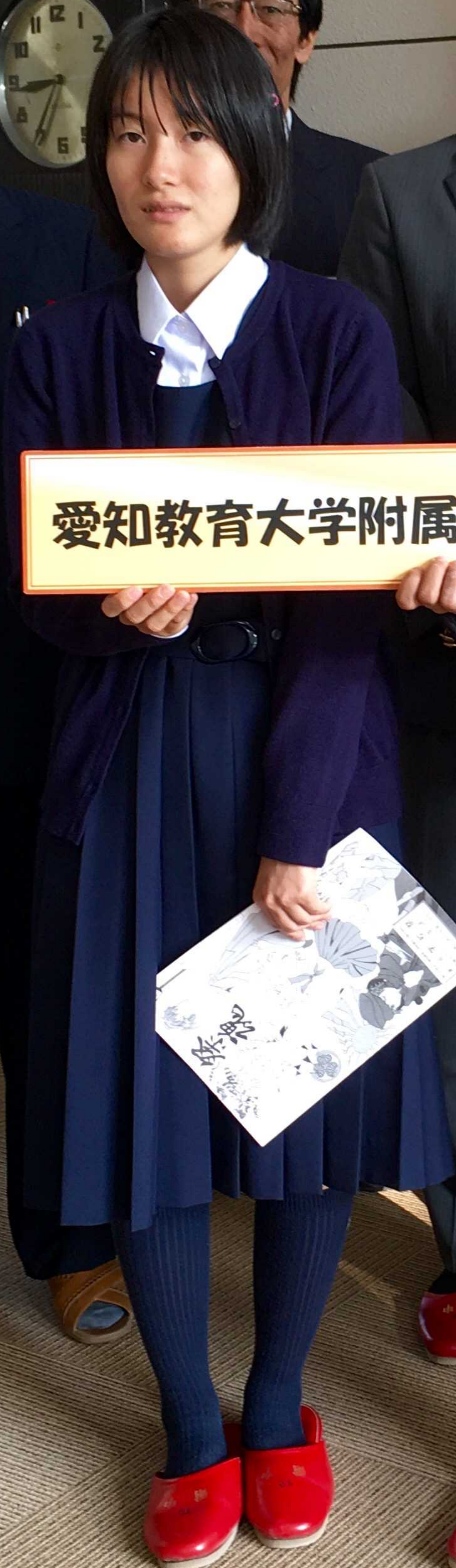
報告日	H28. 3. 22
主管学校名	愛知教育大学附属名古屋中学校
P T A 会長名	柴田 知里

実施概要	主管校	愛知教育大学附属名古屋中学校
	交流校	愛知教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	愛知教育大学附属特別支援学校との理解&共生プロジェクト
	実施日時	10月24日(土) 10:00~11:00
	実施場所	愛知教育大学附属名古屋中学校
	実施目的	特別支援学校との交流における共生および理解を深める為
	実施内容	特別支援学校の生徒制作の作品販売および制作過程の紹介
	実施方法	附中学校際における育友会 mini shop での販売および紹介
	参加人数	愛知教育大学附属名古屋中学校 役員5名 委員2名 生徒2名 その他 育友会会員 愛知教育大学附属特別支援学校 教員1名 役員2名 生徒2名

報告事項	内容	<p>愛知教育大学附属特別支援学校は本校にとって、同じ大学附属で有りながら所在地が離れていることもあり、生徒や保護者に知る人の少ない学校であった。また、学校間でも交流が無く今回のプロジェクトも学校の教育方針に「特別支援学校の理解と共生」を加えることで2年越しでの実現となった。</p> <p>中学校行事の時間を割いて生徒との交流を行うことは出来ないため、学校祭の中で保護者が開催している mini shop の一角で特別支援学校の生徒さんが作成した作品を生徒さんに販売して頂くと共に、学校での活動の様子の DVD を café の電子黒板を利用して放映した。</p> <p>また、特別支援学校の生徒さんの体験の一つとして、中学校育友会の café で買い物をして頂いた。</p>
	結果	<p>DVD は café を利用する育友会会員、幼稚園、小学校の保護者やその園児、児童、本校教員に好評で「木工班」「織物班」「縫製班」「農園芸班」「窯業班」が有ることや学年によって班が違うことなど、制作の様子が良く解ったという声を頂いた。</p> <p>Shop では育友会 café を利用された育友会会員のご家族の反応が大きく、特支の生徒さんに話しかけ、制作の様子などを聞かれていて、生徒さんの嬉しそうに答える様子が印象的であった。</p> <p>参加した本校2名の生徒も、初めての交流であったが自然体でコミュニケーションを取っていた。</p> <p>Café の買い物体験では育友会会員と生徒さんとふれあい、見守る時間となった。</p>
	所感	<p>特別支援学校の生徒さんとの「共生」はまだまだ浸透しておらず、今回やっと「共生プロジェクト」活用を通して第一歩が踏み出せた様に思います。それでも、まだ、課題は多く継続には多くの人の理解と協力が必要と感じました。しかしながら、今回、二つの学校の生徒が時間を「共有」出来た事は短い時間であったにせよ、大変貴重で有意義な事だったと考えます。愛知県でも特別支援学校の児童生徒数は増加傾向にあります。本校でも生徒たちが「共生」は自然の事と受け止め「理解」する土壌作りをしていく必要が有ると強く感じました。</p>

添付書類	写真2枚
------	------

愛知教育大学附属特別支援学校



地に  
がや  
にみ  
わた  
りな  
く  
未拓  
かん  
字の  
庭に  
命あ  
ふ  
ゆた  
かに  
いに  
湧き  
出づ  
また  
の空  
異た  
くま  
永久  
に  
翔け  
りゆ  
未来  
後

日本通運

2E



**Fuchu Cafe**  
 ミニシアター  
 コーヒー  
 紅茶  
 ジュース  
 アッパン

コーヒー	80円
カフェラテ	90円
紅茶	80円
リンゴジュース	90円
オレンジジュース	90円
グレープジュース	90円

木工班

織物班

窯業班

縫製班

中  
 No.6  
 米塚香



## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	H28. 3. 22
学校名	愛知教育大学附属名古屋中学校
学年	三年

### 愛知教育大学附属特別支援学校との交流

愛知教育大学附属名古屋中学校学校祭（H27. 10. 24）にて、作品を販売していた特別支援学校生徒との交流をしました。

\* 作品は、キッチンペーパーホルダー（木製）、小物入れ（やきもの）、巾着袋（布製）など様々種類のものがあり、どれも生活に役立つ作品ばかりでとても魅力的でした。

\* 実際に見たたくさんの作品の中で僕が気に入ったものは数物です。とても丁寧に作られていました。織機を使って製作していると説明を聞いて、実際に一緒に体験してみたいと感じました。

\* 「ありがとうございました」と笑顔がとても印象的でした。

\* 愛知教育大学に附属特別支援学校があることは聞いたことがありましたが、実際に会ったり、話を聞く機会もなかったもので、どんなことをしているのか？どんな生徒なのか？知りませんでした。今回来て話を聞いて、作品の一部を見て、もっと早く交流する機会があればよかったと思いました。素敵な作品ばかりでびっくりしました。

\* 愛知教育大学は全部で7つの学校園がありますが、名古屋キャンパスの幼稚園、小学校、中学校は、交流が増え始めています。今回特別支援学校との交流をしましたが、もっとたくさん交流する機会が増えて、お互いの学校のことがわかりあえるといいなと思いました。短い時間でしたが、貴重な経験をありがとうございました。

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	H28. 3. 22
学校名	愛知教育大学附属名古屋中学校

す

本年度、当校の学校祭において育友会が企画運営するカフェ及びミニショップの一角において、愛知教育大学特別支援学校のブースが設けられていました。

ブースには、二人の生徒さんとその保護者、教員の方がおみえになり、生徒制作の作品を販売するだけでなく、学校を紹介する写真等も掲示されておりました。

育友会のブースの一角であったことから、保護者の方々が足をとめ、販売作品について説明を受けながら購入している姿や掲示されている写真等についても積極的に質問を投げかけ、特別支援学校を理解しようとする保護者の方々の姿が多く見受けられました。

また、カフェに足を運ばれた当校の教員の方々が、特別支援学校の教員の方と話をされ、教員同士の交流を図られていることもありました。

今回、私は育友会のカフェ&ミニショップにおいてボランティアスタッフとして従事しており、特別支援学校の方のブース横で間近に見ていたこともあり、特別支援学校における、生徒と教師、教師と保護者、そして子と親のそれぞれの関係性、コミュニケーション及び絆を垣間見ることができました。

また、このような場所に生徒の方が直接作品を販売することや、当校のカフェ&ミニショップで買い物をすることが社会教育の一環になっていること知り、双方にとって良い機会であったのではないかと感じました。

今後もこのような機会を設け、保護者の方のみならず、機会があれば当校の生徒とも交流を図り、「理解と共生」についてを学んでもらえればと思いました。